

謹賀新年

皆様におかれましては、よき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私が町長に就任して以来一貫して申し上げているとおり「行政の一方的なまちづくりではなく、地域の人による、地域のためのまちづくりを進めていく」というスタンスは変わっておりません。本年も引き続き「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」の実現を目指し、町民の皆さんがいつまでも元気で幸せな生活を送っていくためにも、あらゆる場面を通じて町民の皆さんとの対話の機会も増やして参りたいと考えております。

そして、世界的にも大きな影響を与えることとなった新型コロナウイルス感染症ですが、昨年5月にその法的位置づけが移行されたことにより、人や経済の流れも以前のような活気を取り戻しつつあります。そうした中、本年は「大阪・関西万博2025」が開催されますが、国内外から多くの来訪がある見込みで、関西方面から山陰への玄関口にあたる本町にとっても、とくに観光面での活性化や関係人口の増大など、大きなチャンスであると捉えています。

「来訪者の満足度が高い町」であるためには、「町民の満足度が高い町」であることが不可欠であると考えていますので、輝きに満ちた活力あるまちづくりを、本町が誇る「住民自治力」をお借りしながら地域の皆さんと一体となって目指して参ります。

最後に、町民の皆様にとって本年が幸多き一年となるよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



一人ひとりの人生に

寄り添えるまちへ

智頭町長

金兒 英夫